

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

施設名	農業拠点施設
指定管理者名	株式会社あびべじ
指定管理期間	平成29年4月20日 ～ 平成32年3月31日
モニタリング期間	平成31年4月1日 ～ 令和元年12月31日

評価…3点：評価の視点を満たしており、かつその内容が優れている。 2点：評価の視点を満たしている。

1点：評価の視点を満たしているとはいえないが、取り組みは見られる。 0点：評価の視点を満たしておらず、取り組みがみられない。

総合評価…S（特に優れている）：市評価と選考委員評価の合計得点が6 A（優れている）：市評価と選考委員評価の合計得点が5以上6未満

B（普通）：市評価と選考委員評価の合計得点が4以上5未満 C（多少不十分である）：市評価と選考委員評価の平均得点が2以上4未満

D（不十分である）：市評価と選考委員評価の合計得点が2未満

※各評価項目を事業計画書・収支計画書・協定書・事業報告書・実地調査の結果及び事業報告確認書に基づき以下の評価の視点で評価しました。

評価項目	評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	選考委員会評価	選考委員会意見	市と選考委員会評価合計点	総合評価	
事業の実施に 関する業務	法令順守	事業の実施にあたり、関係法令を遵守している。	2	<ul style="list-style-type: none"> 社会保険労務士の指導に基づくスタッフを雇用している 労基法に基づく労務管理の改善に着手した 衛生責任者により調理における衛生研修を実施した 食品衛生法その他関係法令を引き続き遵守した 	2	事業計画書等に記載のとおり、関係法令を遵守している。	2.0	・事業実施にあたり、関係法令の遵守が見られる	4.0	B
	農産物販売	我孫子市産農産物を販売し、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが行われている。	3	<ul style="list-style-type: none"> 仕入れ担当者に市場に精通した人材を置き、仕入れロスや利益率を改善した 月1回経営会議で改善対策と経営勉強会を実施している 店内ポップを訴求性の高いものに改善し、購入意欲を高めた 10月からの消費税率変更に伴い、キャッシュレス化を推進し顧客の利便性を高めた 委託業者に季節商品の陳列や前室販売等を依頼し、店内の賑わいを創出した 	2	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。これまでの取り組みの成果として、収支がプラスで推移していることは評価したい。農家の所得向上のため、地元農産物の販売額がさらに増えていくように、さらなる施策展開を期待する。	2.2	<ul style="list-style-type: none"> 主力の農産物販売に改善が見られ、経営努力が実りだした。地産地消のさらなる推進を期待する。 他の部門に比べてウェイトを占めるため、事業計画は必達であり、さらなる売上の向上が求められる。 	4.2	B
	加工品販売 開発・製造	我孫子市産農産物を使用した加工品の販売や開発、製造を行い、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが行われている。	2	<ul style="list-style-type: none"> 惣菜部門では、引き続き季節の農産物を使用した惣菜作りをした 地元大学の川村学園女子大学とのコラボ惣菜を販売し、新規顧客を確保した 仕出し弁当の外注を多く受け、顧客を増やした お菓子部門では、集客力のある週末に販売を限定し販売ロスを減らした 新商品として野菜を乗せたピザを開発販売し、リピーターを増やした 	2	事業計画書等に記載のとおり、加工品の販売や開発・製造に取り組んでいる。昨年度に比べて収支が改善し、月によっては黒字が出てきた努力は評価したい。通年での収支の黒字化に向けて、消費者ニーズにあった商品開発と効果的な販売促進施策の展開を期待する。	2.0	・加工品アイテムの見直しとともに、業務の効率化による改善が数値に反映されるようになった。 ・消費者ニーズを十分に把握した上で見直しを行い、効果的な施策展開が行われることを期待したい。	4.0	B
	飲食施設	我孫子市産農産物を使用した飲食物を提供し、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが行われている。	2	<ul style="list-style-type: none"> メニューの殆どにおいて地元農産物を使用している 季節に合わせてメニューを更新し、顧客を飽きさせないよう顧客の確保に努めた ランチ予約及び営業時間終了後の宴会予約を受け、売上を増やした 年末にオードブルセットを販売し、顧客ニーズに答えた 	2	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが見られる。昨年度に比べて収支が改善し、月別では黒字の月のほうが多くなった努力は評価したい。通年での収支の黒字化に向けて、消費者ニーズにあったメニューの提供と効果的な集客施策の展開を期待する。	2.2	<ul style="list-style-type: none"> 消費者目線でのメニュー改善がみられ、結果として収支が改善した。 天候による左右される要素は大きいですが、ニーズに合ったメニューの提供と効果的な集客施策の展開を期待する。 	4.2	B
	学校給食	市内小中学校の学校給食に安定した我孫子市産農産物の提供を行っている。	3	<ul style="list-style-type: none"> 給食コーディネーターを二人配置し、期間を通じて安定した提供を行った 給食コーディネーターから栄養士に旬の野菜情報を流し、利用を促進した 食育事業として小学校で農産物の説明と栽培指導を実施し、好評を得ている 今年度から新たに保育園にも農産物の説明や皮むき体験実施を開始した 	3	事業計画書等に記載のとおり、安定した我孫子市産農産物の提供を行っており、経営計画に沿った収支を達成している。また、学校給食への食材提供だけでなく、小学校に加えて新たに保育園での食育事業を実施するなど、優れた取り組みが見られる。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 食育に熱意をもって取り組んでいる。 経営計画に沿った収支が達成されている点等十分に評価できる。より十分な効果を期待したい。 達成量の減少が気になるが、積極的な食育の展開は評価する。 	6.0	S
	イベント	農家と市民の交流や利用者増加のつながるイベントを実施している。	3	<ul style="list-style-type: none"> 自主イベント（周年祭、ちびっ子流しそらめん、新米フェア、新そばまつり）を実施し、農家と市民の交流機会の創出や若い世代の利用につなげた 外部イベント（エンジョイ手賀沼、ガス展、中央学院大学学園祭、JBF、我孫子市農業まつり、うなぎかつ節等）に参加協力をする事で、新規顧客を開拓した 	2	事業計画書等に記載のとおり、イベントの実施に取り組んでいる。昨年に比べてミニイベントが増えているのは評価したい。一方で、昨年度よりも利用客数が減少していることを踏まえ、顧客ニーズに合ったイベントの展開や外部イベントへの積極的な参加を期待する。	2.4	<ul style="list-style-type: none"> 農家と市民との交流イベント開催の努力があった。 市民ニーズに合ったイベントの開催を心掛けてほしい。 各イベントの効果等を十分に見極めた上で、利用者増加につながるイベント実施（参加）を期待する。 	4.4	B
	情報発信	WEBサイトやイベント等を利用し、積極的に情報発信を行っている。	3	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットの配布やポスティング、イベントの実施等でお店を周知した 我孫子駅、天王台駅、北柏駅、柏駅で広告入りチラシを配り、お店を周知した facebook、Twitter/SNS利用者に新商品やイベント等の情報を発信した WEBサイト『チコクパ！』に登録し、スタンプ機能でリピーターを増やした アピシルへの情報番組『アピストリーム』に生出演し、地元の野菜情報を発信した 各種メディアに取り上げられ（産学連携開発野菜の新聞報道等）幅広い周知ができた 	2	事業計画書等に記載のとおり、積極的な情報発信を行っている。SNSでの継続的な発信に加えて、ポスティング、駅頭での広告配りなど地道な取り組みの増やしていることは評価したい。今後はホームページによる情報発信の強化を期待する。	2.0	<ul style="list-style-type: none"> SNSを使った積極的な情報発信に取り組んでいる。 今後も顧客確保に向けた更なる取り組みを期待する。 	4.0	B
経費縮減	適正な人員配置を行い、仕入れロスや一般経費の縮減に努めている。	2	<ul style="list-style-type: none"> 必要最小限のシフト管理に努め、人件費を抑え収支改善に繋げた 光熱水費や印刷費の縮減に努め、収支改善した 日常使用頻度の多いものは、まとめ買いで安く購入し、経費を縮減した 原価を抑えるために仕入品は可能な限り相見積もりをとった 	2	事業計画書等に記載のとおり、一般経費の縮減に努めている。仕入れの改善やシフトの適正化など経費縮減の取り組みが成果を上げ、収支の改善に大きく繋がった点は評価する。現在取り組んでいるマルチスタッフ化をさらに推進し、成果を上げていくことを期待する。	2.2	<ul style="list-style-type: none"> 給与を含め経費の削減努力が結果を出すようになった。今後も効率的な経費管理を望む。 	4.2	B	
利用者への 対応業務	市民平等	市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	3	<ul style="list-style-type: none"> 登録農家以外にも積極的に声掛けし、農業者の公平な利用に努めた ポイントカードの継続導入で消費者還元を平等に行った 直売所部門では通路を広くして車椅子に対応している 飲食部門では子供用の椅子や食器を用意し、皆が利用しやすいよう努めている 	2	事業計画書等に記載のとおり、市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	2.4	<ul style="list-style-type: none"> 市民が安心して利用できる環境の整備等の取り組みが評価できる。 	4.4	B
	ニーズ把握	出荷者及び利用者のニーズを積極的に把握し、サービスに反映している。	3	<ul style="list-style-type: none"> 意見箱の設置により顧客ニーズを集約し、サービスに反映した 月1回開催している全体会で出荷者ニーズを集約し、サービスに反映した 毎月、他直売所に出向き価格等を情報収集し、販売参考価格の設定に反映した お客様からの要望（取り置きや取り寄せ等）にできるだけ応えている 米舞手のホール日誌の記録（接客において気付いた点の記録）を確認している 	2	事業計画書等に記載のとおり、ニーズの把握に努め、サービスに反映している。課題である午後の荷が集まらない状況や利用客数が減っている状況を改善するためには、出荷者と利用者のニーズに対応していくことが重要であると考えられるため、体制のさらなる強化を期待する。	2.2	<ul style="list-style-type: none"> 出荷者ニーズの把握を行ったことは評価できる。消費者ニーズの情報把握等の諸問題のニーズ把握と対処が重要である。 出荷者から十分な荷が集まらない状況を踏まえれば、改善策の検討が必要と考えられる。 	4.2	B
	苦情対応	利用者からの苦情等を受けて対応するための体制が整っている。	2	<ul style="list-style-type: none"> 苦情の把握と対応に関するフロー図に基づき、迅速かつ適切に対応している 対応した内容は、朝礼や昼礼でスタッフに共有している 	2	事業計画書等に記載のとおり、苦情を受けて対応する体制が整っている。	2.0	<ul style="list-style-type: none"> 苦情把握とその対応フローを的確に行っている。 	4.0	B
	利用料金	利用者から利用料金を適正に徴収している。	2	<ul style="list-style-type: none"> 適正に処理している 	2	事業計画書等に記載のとおり、利用料金を適正に徴収している。	2.0	<ul style="list-style-type: none"> 利用料金の適正徴収の取り組みがみられる。 	4.0	B

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

評価項目	評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	選考委員会評価	市と選考委員会評価合計点	総合評価		
維持設 管及 業理 び 務に設 備 す 等 の	危機管理	自然災害、人為災害、事故等、あらゆる緊急事態に対する予防策や対応できる体制が整っている。	2	<ul style="list-style-type: none"> 消防及び震災等の避難訓練マニュアルを作成し、体制を整えている 緊急時の連絡体制を確立している 	2	事業計画書等に記載のとおり、緊急事態に対する予防策や対応できる体制を整えている。適宜体制を見直し、体制を強化していくことを期待する。現在コロナウイルスが流行しているが、スタッフや出荷者、利用客に感染が確認された場合に適切及び迅速に対応できるよう、万全の備えをお願いしたい。	2.0	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態に対応した連絡体制の整備がみられ、危機管理意識がより重要である。 	4.0	B
	衛生管理	作業環境や従業員の健康管理、食品衛生等について、適切に対応している。	2	<ul style="list-style-type: none"> 栽培履歴の再確認とリスク管理研修会を実施した 食品を扱う部門では食材を電解水で洗浄している 食品を扱う部門では消毒や作業衣の着衣を徹底した 全部門においてスタッフの健康状態は、健康管理チェック表で管理した 	2	事業計画書等に記載のとおり、衛生管理を適切に行っている。今年度は栽培履歴の再確認やリスク管理研修会を実施しているが、今後も引き続き出荷者の意識啓発を図るとともに、直売所としても体制の強化に努めていくことを期待する。	2.2	<ul style="list-style-type: none"> 食品の衛生管理、作業服等の備品衛生管理、スタッフの健康衛生管理が適正に行われている。最近の情勢に鑑み、さらなる衛生管理の徹底を望む。 国内の感染症情報等に十分に留意の上、対応してほしい。 	4.2	B
	備品管理	備品の管理方法が適切である。	2	<ul style="list-style-type: none"> あびペジで購入した備品（什器）について、備品台帳で管理している 市から貸与された備品についても適切に管理している 備品の在庫チェックを実施し、不要な購入を控えた 	2	事業計画書等に記載のとおり、備品を適切に管理している。	2.0	<ul style="list-style-type: none"> あびペジ購入備品の台帳管理がされ、市貸与備品の管理・有料利用が期待される。 	4.0	B
	清掃	施設が清潔な状態を維持している。	2	<ul style="list-style-type: none"> 清掃専門スタッフを雇用し、店内を清潔に保持した 清掃作業マニュアルに基づき清掃した 加工室や飲食厨房、店内ホールは現場スタッフにて日々行った 	2	事業計画書等に記載のとおり、施設が清潔な状態を維持するよう清掃専門のスタッフを雇用し清掃を行っている。	2.0	<ul style="list-style-type: none"> 清掃専門のスタッフ雇用により営業前の施設清掃管理がなされている。 	4.0	B
そ 他	市民の雇用 市内業者の 活用	積極的に我孫子市民の雇用や市内業者を活用している。	3	<ul style="list-style-type: none"> 市民雇用者 74%（35名中26名）を雇用している 市内事業者 42%（59軒中25軒）を活用している 	2	事業計画書等に記載のとおり、積極的に市民の雇用と市内業者を活用している。	2.4	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な市民雇用と市内業者の活用がみられ、指定管理事業者としての行政の主旨にかなった取り組みがみられる。 市内雇用者及び事業者の率は少し下がったものの比較的高いレベルにあることは評価できる。少しでも市内へ還元できるよう努力を望む。 	4.4	B
	人材配置	安定的な管理運営を行うための適正な人員が配置されている。	2	<ul style="list-style-type: none"> シフトにて適材適所でローテーション制を行い、随時見直しを行った 直売部門、飲食部門においてスタッフのマルチスタッフ化を図り労働力を改善した 	2	事業計画書に記載された計画に沿った人員を配置しているが、業務の効率化と合わせて適正な人員数を適宜見直していくことを期待する。	2.2	<ul style="list-style-type: none"> 適材適所のローテーション体制を組み必要限度のシフトを組んでいる。 収支改善に向けて、適正な人員数の配置を随時検討し、見直しを行っていくことを期待する。 	4.2	B
	人材育成	研修計画に沿って、人材育成を図っている。	3	<ul style="list-style-type: none"> 経営研修を月1回実施し、必要に応じて外部研修にも参加し、知識を高めた 県振興センターの専門家派遣を受け入れ研修し、改善策を学んだ 外部講師を招いた接客接遇の研修会を計画している 直売所部門では朝礼、昼礼で接客マニュアルを確認し、接客マナー意識の継続を図っている 役員が販売士3級の資格を取得し、意識と能力の向上を図った 	2	事業計画書等に記載のとおり、研修計画に沿って人材育成を図っている。業務の効率化や利用促進に向けて、さらなる人材育成の強化を期待する。	2.0	<ul style="list-style-type: none"> 研修計画ののっとり人材育成を図っている。役員の経営者としての研修会参加がみられるものより積極的な経営基盤の確立が望まれる。 	4.0	B
	個人情報	個人情報の保護体制が適切である。	2	<ul style="list-style-type: none"> PCの取扱者を限定している ペーパー類の情報は施錠出来る保管庫に保管し、持ち出していない 	2	事業計画書等に記載のとおり、個人情報の保護体制を整えている。	2.0	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理が大切であること、個人情報の保護管理の具体的な作業を個別に見直してほしい。 	4.0	B
	連携体制	出荷者や市民団体、行政等と連携した事業の取り組みを行っている。	3	<ul style="list-style-type: none"> 行政主催の各種イベント（桜キャンペーン、JBF、農業まつり、うなぎちカップ等）に積極的に連携・協力した あびこ型「地産地消」推進協議会と連携イベントを行った 地元2大学と連携し、オリジナルお惣菜の販売や学園祭への出店を行った その他にも下田市やクリーン手賀沼推進協議会と連携し販売した 	2	事業計画書等に記載のとおり、各団体と連携した事業の取り組みがみられる。	2.4	<ul style="list-style-type: none"> あびこ型「地産地消」推進協議会との連携、行政主催の各種イベントとの連携協力、地元大学との連携等、積極的な連携体制が組んでいる。 	4.4	B
	平均点	2.4	平均点	2.0	平均点	2.2	平均点	4.2	B	

指定管理者選考委員会総評

31年度の収支実績は30年度に比べて大きく改善している。3年目にしようやく地道な努力が実りだし、全体的に収支が改善したものと評価できる。県の経営コンサルの指導等により経営意識の向上がみられたことも影響したものと思われる。また、数字には表れない保育園や小学校での食育事業の取り組みについても評価したい。ただし、累積赤字を考えれば、ここで気を緩めずに経営努力を続けていくことが必要であり、さらなる農業拠点施設としての機能向上に繋げてほしい。指定された次期の3年間は、任期を通して収支の面においても評価できる業績を残すことを期待したい。最後に、現在問題になっているコロナウイルスに対する対処についても善処することを望む。